

令和3年度 第35回役員会議事録

日時 令和4年3月29日(火) 14時30分～15時01分
場所 大会議室
出席者 空閑学長、松田理事、佐藤理事、船水理事
出席者 桃野副学長、木幡副学長、董副学長、高橋監事、増江監事

－ 協議事項 －

1 令和5年度大学院入学者選抜に係るアドミッション・ポリシーの変更について

松田理事から、資料1に基づき令和5年度大学院入学者選抜に係るアドミッション・ポリシーの変更について提案があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

(主な審議内容)

大学院改革に係る詳細検討作業部会でまとめた人材育成像を参考に作成した素案をもとに、各専攻で内容を検討したものを取りまとめた。

- ・令和5年度4月大学院改革に対応するため、工学研究科としての「求める学生像」を作成した。
- ・工学専攻及び博士前期課程各専攻の「求める学生像」「入学者選抜の基本方針」について、人材育成像の考え方を反映したものとしている。

資料1-1 令和5年度大学院入学者選抜に係るアドミッション・ポリシーの変更について

資料1-2 令和5年度大学院入学者選抜に係るアドミッション・ポリシー

2 創立記念学術振興・国際交流基金予算及び実施事業について

船水理事から、資料2に基づき創立記念学術振興・国際交流基金予算及び実施事業について提案があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

(主な審議内容)

創立記念学術振興・国際交流基金(以下、「国際交流基金」という。)による支援事業(国際交流基金規則第3条の第5種留学生への援助)について、令和2年度から従前の私費外国人留学生奨学金に加えて、国の感染症に対する防疫措置の対象となる外国人留学生の経済的負担軽減を目的とした入国支援金(一人当たり10万円)による支援を追加した。当該支援については、令和4年3月からの国の水際対策の見直しに伴い、入国後の待機期間及び待機場所が変更されたため、一人当たりの支援金額を5万円に引き下げることにし、令和4年度予算書(案)に支給人数分(見込)の予算380万円を計上して全額を基金取崩しにより実施するものである。

なお、令和4年度予算書(案)に計上した奨学金については、課程ごとの支給枠によって予算を計上し、その財源には本基金の運用利息のほかに室蘭工業大学教育・研究振興会の事業費及び寄附金オーバーヘッド等を充てている。

資料2-1 創立記念学術振興・国際交流基金予算及び実施事業について

資料2-2 令和3年度創立記念学術振興・国際交流基金決算書(案)

資料2-3 令和4年度創立記念学術振興・国際交流基金予算書(案)

資料2-4 室蘭工業大学創立記念学術振興・国際交流基金規則

以上